

美祢社会復帰促進センター

「再誕の丘」だより

「再誕の丘」とは

平成16年12月15日に、南野知恵子法務大臣(当時)が、美祢テクノパークを視察されました。

その折、かつて立ち並んでいた炭坑住宅が、美祢社会復帰促進センターに生まれ変わることに因み、「この施設で受刑者が社会復帰するために生まれ変わる」ことを心から願ってこの丘を「再誕の丘」と命名されたものです。



美祢社会復帰促進センター長 年頭御挨拶

センター長 市川 真由美

新年明けましておめでとうございます。

平素から、当センターの運営について御支援と御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類感染症へと位置付けが変わり、さまざまなことが平常に戻りつつある年になりました。

当センターにおいても、昨年1月には、食堂の一般の方の利用再開、5月には、4年ぶりの「豊田前愛のまごころ矯正展」の開催、また、11月には、センター生が考案したパンを販売する「みねマーケットプロジェクト」を実施するなど、地域の皆様との接点を多く持つことができました。また、施設参観についても再開し、多くの団体の方々にセンターに来訪いただきました。センター生関係の行事としましては、しばらく中断していた盆踊りや運動会を実施しました。盆踊りについては、浴衣の着付けや太鼓の指導などを地域の皆様に御協力いただき、心から御礼申し上げます。今年も、感染症予防に留意しつつも、地域の皆様との交流の機会を数多く持ち、地域に開かれた施設を目指していきたいと考えております。

また、当センター職員も地域の一員としてさまざまな行事に参加させていただきました。ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、豊田前公民館の創作展、また清掃活動をはじめとする各種市民参加活動など、地域の皆様と協力して汗を流したり、スポーツで交流したりし、楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。

本年も、当センターの理念である「地域との共生」を大切にし、職員一同、地域の一員としてさまざまなことに取り組んでいきたいと考えております。そしてまた、当センターの最も重要な使命の一つであるセンター生の改善更生・社会復帰支援については、官民協働してより一層充実させていきたいと考えております。

一陽来復と申しますが、長く、厳しい冬の後には春がやってまいります。

本年の皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



目次：

センター長年頭御挨拶 1

総括業務責任者年頭御挨拶 2

消火競技大会に出場しました！

地域スポーツイベントへの参加 3

みねMarketプロジェクト！今回もパンの販売を実施しました！

刑の執行段階等における被害者等の心情等の聴取・伝達制度のご紹介 4

総括業務責任者 年頭御挨拶

総括業務責任者 大石 博司



あけましておめでとうございます。

早いもので、昨年4月に着任し9ヶ月が経過しました。新たな年を迎え、この美祢の地で皆様と共に新年のスタートラインに立てる喜びを一層感じています。

2023年を振り返ると、全てが私にとって初めての事ばかりでしたが、中でも「5月の豊田前愛のまごころ矯正展」は地域の皆様に足を運んでいただき、共に時間を過ごす姿を見て、多くの方がセンターの取組みに関心を寄せていただいているという事をあらためて実感しました。

また、「7月の豪雨災害」では当センターの御注連会館が初めて避難所として開設されました。不安と心配の中におられる地域の皆様に活用していただき、少しでも安心していただける場所を提供できた事は、より地域との結びつきが強くなったと同時に、私達の使命感を強くしました。地域共生の新しい「かたち」がこの延長線上にあるのではないかと感じています。

2024年度はいよいよ「PFI事業20年間の集大成の1年」です。施設の大規模修繕は秋頃に完了し、新しい社会復帰促進センターにふさわしい姿へ整備されます。

今年の干支の辰は「勢い」と「変化」の象徴として1年間その期待と役目を担うように、私達は自らが「変化」し、新しい時代にふさわしい挑戦をしてまいります。どうか変わらぬご指導ご鞭撻お願い申し上げます。



消火競技大会に出場しました！

令和5年10月22日（日）、美祢市消防本部において「第44回消火競技大会」が開催され、当センターチームも出場いたしました！

この大会は美祢市内の事業所が参加し、市民の防災意識や初期消火活動技術等の向上を目指す大会です。それぞれ2人1組のチームを作り、消火や要救助者搬送等の課題が設定された障害物コースのクリアタイムを競います。当センターでは若手職員の登竜門的な位置付けになっておりますが、今年も若い力を存分に発揮してくれました！



地域スポーツイベントへの参加



昨年はコロナ禍が一応の落ち着きを見せ、全国的に様々なイベントが通常どおり開催されることが多くなってきました。

我らが豊田前地域においても数々のイベントが開催され、当センターは、8月27日（日）のソフトボール大会、9月24日（日）のグランドゴルフ大会、10月29日（日）のソフトバレーボール大会に出場いたしました！どの大会も白熱の試合展開となり、センター職員一同、地域の皆様と共に大いに盛り上がり、楽しいひと時を共有させていただきました！

とは言え、コロナ禍前の盛り上がりには未だ及ばず、本調子を取り戻すにはもう少し時間が必要なのかもしれません。これからも、様々なイベントへの参加を通じて豊田前地域を盛り上げて参りたいと思いますので、よろしくお願いします！

みねMarketプロジェクト！ 今回もパンの販売を実施しました！

既におなじみの方もいらっしゃると思いますが、令和5年11月24日（金）、「みねMarketプロジェクト」においてパンの販売を実施しました！

簡単にご説明いたしますと、みねMarketプロジェクトとは、当センターのセンター生にマーケティングの体験をさせる取組みで、センター生が企画・生産した商品（パン）をセンター生が接客し販売するという内容です。

今回は850個のパンをご用意しましたが、地域住民の皆様を始め大勢のお客様にご来場いただき、またまた大盛況のうちに販売時間が終了しました。毎度ありがとうございます！そして今後とも「みねMarketプロジェクト」をよろしくお願いします！



刑の執行段階等における 被害者等の心情等の聴取・伝達制度 のご紹介

令和5年12月1日から、「刑の執行段階等における被害者等の心情等の聴取・伝達制度」がスタートしました。この制度は、犯罪被害に遭われた方の置かれている状況や被害に関する心情等を、受刑・在院中の加害者に伝える制度で、加害者に対して、被害の実情等を直視させ、反省や悔悟の情が深まるよう指導等を行う制度です。

もう少し具体的にご説明すると、制度を利用したいと申し出のあった被害者から矯正施設職員が心情等をお伺いし、その内容を加害者に伝え、さらにその結果を被害者にお伝えするという内容です。

犯罪被害に遭われた方の、「加害者が犯した事件が社会にどのような影響を与えているか加害者自身に知ってほしい」、「加害者には反省の気持ちを持ちながら受刑生活（在院生活）を送って欲しい」等の様々なお気持ちを受刑者（在院者）に伝えることで、彼らの改善指導の助けにさせていただく新しい制度ですので、皆様には是非知っていただきたいと思い、本誌においてご紹介いたしました。



国民に理解され、支えられる刑務所へ

編集・発行
美祢社会復帰促進センター
<http://www.mine-center.go.jp/>

お問い合わせ先
〒750-0693
山口県美祢市豊田前町麻生下10番地

TEL: 0837 (57) 5131
FAX: 0837 (57) 5161